

令和2年度 奄美地区地域自立支援協議会全体会議事まとめ

	活動報告及び計画	内容	質疑等
定例会及び研修会	【昨年度定例会】 第1回:令和元年7月17日(大和村) 事業所見学:すももの会 第2回:令和元年10月17日(龍郷町) 事業所見学:聖隷かがやき 第3回:令和2年年1月16日(奄美市) 事業所見学:なし 【研修会】令和元年11月7日 ・対人サービスにおける権利擁護～障がいのある人の地域生活を考える～ 講演:東洋大学社会学部社会福祉学科教授 高山直樹氏 ・シンポジウム(当事者を含む地域の支援者) 【今年度定例会】 第1回:令和2年10月15日(瀬戸内町) 第2回:令和3年1月14日(宇検村) 研修会:検討中	・すももの会の見学ができて良かった。当事者の方に直接会うことができたのがよかった。 ・(8050問題は)各担当者が何らかの形で関わっている事例だったので話が盛り上がったが、グループワークだけに終わらず他分野と連携が出来る体制を作ることが必要。 ・具体的な事例の発表が簡単にでもあれば、各部会の活動内容がよりわかりやすい。 ・各部会の活動が活発になっているという印象を受けたが、質問があればもっと盛り上がったのでは。 ・(障がい者入所施設の課題について)介護分野の方が各グループに居たらもっと議論が深まったのではないかと。 ・介護事業所関係と自立支援協議会の意見交換会など、高齢分野との連携があっても良い。 ・医療・介護福祉・障害福祉の分野の連携のための話し合いを進めることが必要。 ・自立支援協議会をもっと知ってもらうため、会議参加者がびあリンクの広報誌を各課・部署等に説明、回覧する等が必要。 ・定例会で出た課題について継続して協議し、前に進んでいくことが必要。 ・研修を通して意思決定が出来る環境づくりの大切さを知ることができた。 ・意思決定が出来ない、難しいと判断して障がい者側の問題にしていることが多かったのではと振り返ることができた。 ・田検小学校(宇検村)への「見えない障害」理解のための出前授業を実施	【質問】 ・資料12ページの地域部会アンケート調査について。地域で生活するための障害者の住居について、アンケートの結果、一人暮らしをしたいという声は多かったか？
	精神部会 (毎月開催)	・部会主催の研修会を予定していたが、コロナウィルス対策のため中止。 ・専門的な事例を検討できる場となった。 ・地域開催として大和村で行ったクライシスプランについては支援を考える上で大切な場だった。 ・生保担当者も一部参加してもらえるようになり、生活保護受給世帯での精神疾患の課題を検討できた。 ・地域の潜在化したケースに対して、市町村保健師や生保担当者へ、より部会参加を促し課題の共有が必要。 ・クライシスプランを実際に活用することが、次年度の課題。	事務局 ・多くはなかった。体験していないから、イメージが湧いていないくて、わからないと言う回答もあった。元々親と暮らしていた経験から、退院しても親のもとに戻りたいという人もいた。
	相談支援部会 (毎月開催)	・部会6回、事例検討会5回&SST講座研修開催 ・障害福祉サービス以外の各事業や制度について理解を深める機会を設けた(勉強会) ・他部会へ担当を決めて参加し、課題や情報の共有、意見交換が出来る体制を整えた。 ・昨年度の課題”障がい理解のための取り組み”について、定例会で協議した結果、出前講座(小学校)が実施された。今後も各市町村で継続する。 ・地域移行(退院)時の支援について、精神部会と合同部会を開催し、退院支援時のアセスメント等について意見交換を行った。 ・事例検討のさらなる内容の充実、参加者増について検討をした。 ・相談支援専門員の全体の資質向上のため、計画作成、モニタリング、制度理解、を行政と随時質疑応答ができる体制をつくっている。(対人援助のミニ研修実施) ・新規に開設された相談支援事業所の支援が課題。	事務局 ・この構成委員には入っていない。 自立支援協議会ができた当時は介護保険事業所の中から障がい者へのヘルパー派遣が行われていて、居宅支援事業所は別に集まりがあったという経緯がある。 しかし、コロナの影響などにより、各事業所間での連携や協議の必要性が高まっている。構成委員としてでなくても、部会への参加などで連携していく事を検討していきたい。
	子ども部会 (年3回開催) (情報交換会3回)	・子ども部会:3回(奄美市、瀬戸内町、龍郷町) 子ども支援に関わる多職種による意見交換を実施。グループワークを通して「地域課題の共有」及び「顔の見える連携」を深めるための「協議の場」を提供できた。 ・児童発達支援管理責任者情報交換会の実施(各種アンケート・保育所等訪問のあり方・地域資源の不足・医療との連携・リレーファイル等について検討) ・鹿児島県こども総合療育センターより県内の実情について報告及び地域課題についてグループワーク ・「奄美そだちサポートプロジェクト」第一回研修会実施(鹿児島大学心理系教員との連携) ・高校からの参加もあり、中学と高校の連携状況や社会に出る際の課題について共有・協議できた ・「教育と福祉と医療」という「多職種連携」に関する議論に発展した。 ・教育、保育分野からの参加を増やすための、案内や広報について工夫、検討の必要があった。 ・子ども版事業所サービス情報シートは提出状況を揃えることができずHPへの更新が途中になった ・子ども部会と情報交換会の役割の明確化が必要。	【質問】 協議会の中から各市町村の障害福祉計画へ提言をしている、とあるが、どのような方法で行っているのか？口頭か、文書か？報告の仕方を教えてほしい。
	就労支援部会 (年3回開催) ＋ 就労ネットワーク会議	・地域の障がい者就労に関する課題を協議 ・事業所変更に伴う地域の「共通認識」を作成。全事業所に配布し、共有。 ⇒内容理解の徹底までには至らず、解釈のズレやトラブル発生があった。 ・相談支援部会からの参加もあったことで、それぞれの立場からの意見交換ができた。 ・「農福連携」「共同受注」「優先調達法」について行政との意見交換を行うことができた。 ・就労ネットワーク会議に参加。「障がい者就労」に関する協議に参加し、ハローワークなど就労支援機関との連携を図ることができた。 ・福祉事業所の運営に関する課題の共有・検討が中心になり、当事者の一般就労など、自立に向けた協議を深める事が出来なかった。 ・「福祉的就労」から「一般就労」まで一体的に捉えた連携・意識の共有、協議まで至らなかった。	事務局 報告は紙できちんと、ではない。紙ベースでするのか、口頭でするのか検討していきたい。
その他	地域生活部会 (年3回開催)	・アンケート調査の実施(不動産会社・病院・施設・グループホーム) ・鹿児島県宅健建物取引業協会ブロック研修で精神障害特性の理解・普及啓発を実施 ・定例会で施設入所者の高齢化による現状(物理的環境、人員等、看取り)について共有 ・施設サービス管理責任者情報交換会の実施(施設、グループホーム) ・保証人問題や地域で生活する前の体験の場が奄美地区にはない等の課題の検討が必要。 ・公的機関、県や市町村の住宅部局へのアプローチが必要。 ・障害者施設の高齢化に伴う支援や看取りの課題(介護保険、医療と課題の検討が必要)	【提案】 コロナの影響や感染予防にもつながる話だが、協議会でもZoom会議や書面会議などを検討してもらいたい。 共有の意味でも、業務が忙しく、会議になかなか参加できないサービス提供事業所にも参加してもらえるような会議の開催方法も議論してもらいたい。 コロナ感染が起こる前に準備をしてもらえればと思う。
	障害者差別解消支援地域協議会について (権利擁護部会)	8月、2月開催 ・行政機関のみならず、弁護士、商工会議所、運輸関係、一般商業施設からも参加 ・名瀬運動公園プールの、車いすユーザーも利用しやすい環境整備について経過報告 ・各団体・機関の駐車場ブルーカラー化・バリアフリー化の取り組みについて報告	事務局 事務局でもZoom会議などの話が出たところだった。 これから事務局・運営委員会で検討していきたい。
	障害者虐待防止に関して	担当者連絡会議を8月に開催 各行政窓口において、虐待の認定・養護者への支援における対応と終結プロセスの確認を行った。	【報告】 昨年度、大和村でも精神部会の地域開催をお願いしてもらった。 クライシスプランが活かされた事例があったという報告をしたい。 通常の事例検討にプラスしてクライシスプランがあると、支援だけで考えていたことと本人の思いにズレがあったことに気づくことができた。 精神障がいの方に限らず、全ての人に役に立つと思う。
	奄美地区障がい者等基幹相談支援センター (びあリンク奄美)の活動について	・相談件数と内容について報告 ・各サービス提供事業所での困難事例への支援。 ・障害理解のための出前トークの実施(14件) ・各専門機関と協働し地域で相談会を開催(みんなの相談会:2回) ・民生委員会等、地域へのセンター広報周知として広報誌を発行(年3回) ・地域移行について協議の場を設定(地域生活部会・精神部会) ・司法との連携、刑務所出所後の障がいのある人への支援 ・虐待防止センターの運営・理解と普及啓発 ・支援者のための弁護士相談会、茶話会の開催(6回) ・地域のバリアについて(駐車場のブルーカラー化推進・障害者週間等の啓発、理解促進) ・地域自立支援協議会に関する事項 全体会1回、定例会3回、運営委員会5回、各部会準備、事務作業、運営研修会の企画・開催((障害者の権利擁護について) 奄美市障害福祉計画への参画 ホームページの管理・運営、奄美市まなび・福祉フェスタへの参加	